

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2010年10月01日【第 7 号】

鶴見区駒岡5丁目で鶴見川の堤防補強工事が行われます 約270mの区間を10月中旬から来年3月末に工事施工します

樽網橋約40m下流地点を起点に横浜市鶴見区駒岡5丁目地先（ジャスコ側）で鶴見川堤防の補強工事が行われます。この工事は、堤防点検の結果、洪水時に危険が想定される箇所を補強するための工事で、洪水時に堤防内に浸透（河川水が入り込む）する水を速やかに排出し、堤防の安全性を向上させるものです。堤防も民家側へ少し大きくします。

工事現場は、約270mの範囲で、河川側は護岸の上に土で覆い、芝を張った構造で、下図のようになります。この工事により、堤防上の道路などを通行止め（下図で赤色で着色した範囲）としますので、近隣の看板等をご覧ください。

沿川の皆さんへ ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします



鶴見川流域センターで9月23日(木)『水マスフェア』を開催しました



鶴見川の水害の
歴史から学ぶ

人形劇に
見入る親
子たち



『水マスフェア』は、鶴見川流域の防災・環境・ふれあい、まるかじりをテーマに、鶴見川流域センターで開催されました。

当日は雨天のため、予定していた魚取りなど体験型の催しを取りやめになり、降雨体験車や人形劇などを楽しんでいたましたが、屋内での催し物が多くなってしまいました。

こういう状況であったにも拘わらず、約320名の方が来館し、鶴見川の水害の歴史、鶴見川の生き物を含めた環境などを学ぶ機会になりました。

防災キャラバンの一環で港北区内3箇所で『水害防止に関する講演』を行いました

京浜河川事務所では、自治会等の要請により「水害防止に関する講演」と意見交換を行っています。

1回目は、今年6月に港北区樽町で行われました。

9月に入り、2回目を港北区綱島上町で行いました。ここでは、集合住宅の管理組合からの要請で、全世帯の1割を超える参加者110名が出席し、港北区からも危機管理担当の方が自主判断、避難の重要性の話を行っています。

3回目は、港北区新吉田町で、町内会役員約20名が出席し、ゲリラ豪雨の話や河川整備の現況などの話を行っています。

いずれも京浜河川事務所と港北区役所で連携を取りながら進めました。今後、他区の自治会などからも要請があれば、いつでも出向くこととしております。



自治会での講演

Xバンド
レーダと
は！

京浜モバイ
ルとは！



あとがき

9月は2回関東地方に台風が近づきました。

鶴見川は、急激に水位が上昇するため、台風が近づいた際には、管内の河川敷などに生活しているホームレスの方々に『台風が近づいているよ』というチラシを配り、注意を呼びかけています。

雨が降り出すと流域の雨量と水位を確認するため、夜もパソコンや携帯電話とにらめっこしています。遊水地管理センター脇の鉄塔には、今年になって従来の広域レーダに比べ、より早く、より詳細に観測できるXバンドMPレーダが設置され、この夏から、雨量観測の試験運用を開始していますので、国土交通省のホームページをご覧ください。HPは、次のとおりです。

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターに年間約16,000人が

9月の来館者数は、団体等での来館者が少なく7月8月に比べて少なかったようです。

10月は、約10団体の見学予定が入っており、多くなりそうです。

最近、幼児向けの展示も始め、小学校へ入学前の子ども達にも楽しめるコーナーも増えています。

遊水地管理センター脇の大きな『鉄塔は、何mあるの?』などと予想外の質問も出ています。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)

平成22年9月の来館者数 1,753人